

報道機関配付資料 安城市

件名 「元気スイッチ on!!あつまれ！あいちのじどうかん」の開催について

令和7年11月21日

愛知県児童館連絡協議会ほか2団体の主催で、「第14回元気スイッチ on!!あつまれ！あいちのじどうかん」が安城市で開催されます。「出前じどうかんーあそびばー」では、県内12市町の児童センターイチオシの遊びを見て、聞いて、実際に体験することができます。

記

1 日時

令和7年11月30日(日)午前10時～午後4時15分

※「出前じどうかんーあそびばー」は午前10時45分～午後3時15分

2 場所

へきしんギャラクシープラザ

3 対象

子育て中の親やこども、児童館職員、児童クラブ職員、
子育て支援に関心のある人、児童健全育成に関心のある人

主催：愛知県児童館連絡協議会、名古屋市児童館連絡協議会、
愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）

問い合わせ 安城市役所 こども課

電話（直通）0566-72-2317（あんぱ〜く）

元気スイッチ on!!あつまれあいちのじどうかん実行委員会事務局

電話0561-63-1110（愛知県児童総合センター）



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

出前じどうかん

あそびば



第14回元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

2025年 11月 30日(日)

10:45~15:15



会場：へきしんギャラクシープラザ(安城市)
3階 大会議室

愛知県内の児童館や児童クラブでイチオシの遊びをみんなで見て、聞いて、体験して楽しむ場所です。
「体をつかってあそぶ」「作って遊ぶ」「集団で遊ぶ」などなどいろいろな遊びが盛りだくさん!

【参加団体】

- ◆名古屋市児童館 ◆一宮市立児童館 ◆春日井市児童館 ◆安城市9児童センター
- ◆常滑市児童館 ◆清須市8児童館 ◆みよし市出張児童館 ◆市が洞児童館
- ◆扶桑町児童センターひまわり ◆東浦町7児童館 ◆武豊町4児童館 ◆設楽町子どもセンター

【主催】愛知県児童館連絡協議会 名古屋市児童館連絡協議会 愛知県児童総合センター (公益財団法人愛知公園協会)

【問い合わせ】元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん実行委員会事務局 愛知県児童総合センター TEL:0561-63-1110

元気スイッチ on!!

あつまれ！あいちのじどうかん

つながる力！
みんなでつくる
児童館

2025年
11月30日[日]
10:00-16:15
へきしんギャラクシープラザ (安城市)

参加無料

主催：愛知県児童連絡協議会、名古屋児童館連絡協議会、
愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）
共催：愛知県
企画運営：元気スイッチ on!! あつまれ！あいちのじどうかん実行委員会
後援（予定）：名古屋、一般財団法人児童健全育成推進財団、
愛知県地域活動連絡協議会、全国児童館連絡協議会、
全国児童厚生員研究協議会、中日新聞社



出前じどうかんーあそびばー

10:45-15:15

児童館・児童クラブでイチオシの工作やゲームなどの遊びが集う、遊びの情報交換の場です。さまざまな人々と交流して楽しみながら、愛知の児童館・児童クラブを盛り上げていきましょう！愛知県内にある児童館や児童クラブを紹介するアピールカードもぜひ見に来てください。

参加団体

- 名古屋市児童館
- 春日井市児童館
- 常滑市児童館
- みよし市出張児童館
- 扶桑町児童センターひまわり
- 武豊町4児童館
- 一宮市立児童館
- 安城市9児童センター
- 清須市8児童館
- 市が岡児童館
- 東浦町7児童館
- 設楽町子どもセンター



アクセス

JR東海道本線「安城駅」下車 徒歩10分
あんくるバス循環線 右まわり「市役所・文化センター」下車
あんくるバス循環線 左まわり「市役所」下車

へきしんギャラクシープラザ 安城市桜町17番11号



※ ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

LINE オープンチャット つなごう！あいちのじどうかん！

県内児童館・児童クラブ職員がオンラインで交流できる場です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

オープンチャットの参加はコチラ！



参加申込はWEBフォームにて受付中

基調講演

- 子どもとつくる児童館と改正児童館ガイドラインの活用

分科会

※ 先着順にて受付

- 第1分科会 テーマ：こどもの思いを汲みとる『こどもの心に寄り添うボディーワーク』 定員 30名程度
- 第2分科会 テーマ：子どもと遊びをつなぐ『みんなも楽しい！ひとりでも来て楽しい！』 定員 30名程度
- 第3分科会 テーマ：こどもの声からつくる児童館『こどもたちと「こうだ」といいたくをかなえよう』 定員 30名程度

あそびば

- 児童館・児童クラブでイチオシの遊びが集う、遊びの情報交換の場

参加申込は
コチラ



ウェブフォームにて参加を希望するものを選択してください。

参加資格 児童館職員、児童クラブ職員、児童健全育成・子育て支援に関心のある方、子育て中の親や子ども

参加費 無料

受付期間 2025年10月20日(月)～11月3日(月・祝)

※ 開催日1週間前を目安にメールにて参加証をお送りします。

問い合わせ先

元気スイッチ on!! あつまれ！あいちのじどうかん実行委員会 事務局

〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ畑間乙1533-1
愛・地球博記念公園 愛知県児童総合センター内

公式サイト ● <https://www.acc-aichi.org/jidokan/switchon-2025/>

● TEL 0561-63-1110

あつまれ！あいちのじどうかん

検索

※ 開催内容を変更する場合があります。詳細は公式サイトよりご確認ください。

元気スイッチ on!! あつまれ! あいちのじどうかん

～つながる力! みんなでつくる児童館～

子どもが自分の意志で来館できる、唯一の児童福祉施設である「児童館」。
そこは、毎日たくさんの子どもたちが集い、遊び、成長していく大切な居場所です。
みなさんの児童館では、子どもたちはどんなふうに過ごしているのでしょうか?
そして、子どもたちからはどんな声が聞こえてくるのでしょうか?
今年の「元気スイッチ on!! あつまれ! あいちのじどうかん」は、「みんなでつくる児童館」をテーマに開催します。子どもや保護者、地域の方、そしてそこで働く職員など、みんなの声を聴き、アイデアやパワーを出し合いながら、これからの児童館について考えていきたいと思います。
大会を通して、一人ひとりがつながり、ひとつの大きな輪となって、誰にとっても親しみの持てる児童館を一緒につくっていきましょう。

タイムスケジュール

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
受付開始 45	開会式 30 45	基調講演 30	分科会 受付開始 45	分科会	分科会	15 30 45	閉会式 15
			あそびば				

開会式

10:00-10:30

基調講演

10:30-11:30

「子どもとつくる児童館と改正児童館ガイドラインの活用」

児童館は、すべての子どもを対象とした居場所として、多様な地域にあって、子どもの意思で、好きな時に
行くことができる場所です。
2025年4月に改正施行された児童館ガイドラインでは、「子どもの意見を聞く」からもう少し踏み込んだ
「子どもの意見形成を支援する」ことが児童館の役割になりました。
子どもたちとのつながりの中から、子どもの声に耳を傾け、対話し、共に考えながら、子どもの「やってみ
たい!」を実現できるような児童館づくりを目指しませんか?



講師 植木 信一 さん 新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 教授

元・社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 放課後児童クラブ職員
新潟県立大学の前身である県立新潟女子短期大学 生活科学科生活福祉専攻講師を経て現職
新潟県立大学 人間生活部 子ども学科 学科長
厚生労働省 社会保障審議会 児童部会 放課後児童対策に関する専門委員会 専門委員
こども家庭庁 こども家庭審議会 子どもの居場所部会 委員 (第1期)
こども家庭庁 こども家庭審議会 児童厚生施設及び放課後児童クラブに関する専門委員会 委員

< 編著・著書 >

「最新教育動向2025」待機児童問題と放課後児童対策の強化 明治図書、「子ども家庭福祉
(初版第2刷)」編著 北大路書房、「改訂保育者が学ぶ子ども家庭支援論」編著 建帛社 など

分科会

13:00-15:30

第1分科会 テーマ: こどもの思いを汲みとる

こどもの心に寄り添うボディーワーク

講師 栗嶋 紀子 さん 「とぶくじら WORKS」代表

みなさんは、児童館に来る子どもや親子の思いを知っていますか?積極的に意見
が言える子、自分の思いをなかなか表現できない子、いろいろな子どもがいると
思います。
児童館が「地域の居場所に」と注目されている今だからこそ、こどもの気持ちを
知るための視点やヒントを見つけませんか?
みなさんの児童館が「こどもまんなか児童館」になるためにどうしたら良いのか、
体を通して心の在り方を知り、その両面をほぐす実践方法である「ボディーワーク」
を通して一緒に考えましょう。



第2分科会 テーマ: こどもと遊びをつなぐ

みんなも楽しい! ひとりで来ても楽しい!

講師 志村 貴子 さん 愛知県子育てネットワーカー

児童館には、毎日いろいろな子どもたちが遊びに来てくれますよね。友だちと
約束して来てくれたり、親子で来てくれたり。時にはひとりで来てくれる子も
います。家でも学校でもない「児童館」に親しみを抱いてくれているのだと思い
ます。
今回はひとりで来てくれる子にスポットをあて、児童館での過ごし方などを遊びの
スペシャリストと一緒に考えてみましょう。



第3分科会 テーマ: こどもの声からつくる児童館

子どもたちと「こうだといいな」をかなえよう

事例発表 渡辺 宏明 さん 稲沢市西町さなか児童センター 児童厚生員
酒井 華奈子 さん 東浦町立緒川児童館 館長

「児童館でこんなことやりたい」「こんな児童館がいいな」子どもたちが自分の
意見を発信できる場所はみなさんの児童館にはありますか?私たち児童厚生員は
子どもたちのそういった気持ちを引き出せる存在です!こどもの声に応答してみる。
子どもと一緒に「こうだといいな」を形にしていこう。児童館で子どもと職員が「こ
うだといいな」の実現に向けて意見交換をできる場所をつくれるといいですね。
実際に児童館で行っている事例を聞き、私たちも一歩を踏み出して実践につなげ
られるようにグループワークで自分の意見を表明し、意見交換してみましょう!



閉会式

15:45-16:15